

全日本私塾教育ネットワーク

## 私塾ネット広報

第64号(平成30年11月号)



さつま芋じゃが芋南北地の風味（直人）

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之

〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内

TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459

Mail:center-office@shijuku.net

理事長 仲野十和田

TEL03-3963-5572

広報部長 大住 明敬

TEL048-957-8608

## 理事長コラム



「フランスでは柔道の競技人口が日本の10倍、それは、部活ではなく放課後民間の道場に通っているそうです」

10月26日（四ツ谷主婦会館）、『民間教育団体連絡協議会設立パーティー』

で衆議院議員下村博文氏が冒頭のあいさつで話されました。この会は、学習塾が中心となり、ピアノ、スイミング、語学学校が手を組もうということで結束されました。昨今、全国的に部活の在り方が問題になっています。部活を通して人間教育を育むのが目的であるはずが、勝つことにエネルギーが注がれ、本来の目的と程遠いものになってしまっていることが原因といえます。一方、10月8日（公社）全国学習塾協会主催で講演された柔道家、古賀稔彦氏の『古賀塾』は、柔道を通して、本来の人間教育をしっかりと伝えていることが伝わってきました。そろそろ、民間の専門家に委ねる時期が来たのではないかと感じました。この記念会の報告は別にあると思いますが、関東代表の渡辺浩先生が実行委員長として、各団体の若手を束ねて素晴らしい30周年記念会となりました。

話は変わりますが、先日N高を訪問しました。角川＆ドワンゴが経営する通信制高校です。東京校はお茶の水駅から徒歩7分くらい、明治大学裏あたりの静かなビル街にあります。実際の在籍者は600人ほどだそうですが、ここには80名ほどの通学生がいるとのこと。ほとんどの通信制の学生は、何かしら全日制の学校に合わず、このタイプの学校を選択していますが、この学校の生徒たちが、勉強に向かう姿勢や、プレゼン力には目を見張るものがありました。スタッフや講師の指導レベルもかなり高いことが伝わります。自宅生においても、授業が対話形式になっていたり、仮想遠足と呼ばれるコミュ

理事長 仲野十和田(ナカジュク・東京都)

ニケーションが必要な参加型のシステムがあったり、農村で体験型の学習など、その引き出しの多さと本物指向には驚くばかりでした。

一方、来年度東京都調布市に開校する「ドルトン東京学園」は河合塾が私立商業高校を買収した共学の中高一貫校です。「ドルトン」とは、およそ100年前にアメリカで生まれた教育メソッド・ドルトンプランに由来しますが、このメソッドはヨーロッパやアジアなど全世界で高く評価されているそうです。1学年は100人で25名1クラス編成。全教科横断型の探求授業を1年のある時期に導入するなど、様々なプログラムが企画されています。学費は初年度148万円と近隣の私立校と比べかなり高額ですが、数年でトップ校と肩を並べてくるだろうという見方をする方が多いようです。

N高やドルトン東京学園のように大きな資本を持つ学校や塾が際立っています。そして、ひと昔前なら「大手にはできないことをやっている」という自負が中小塾にはあったと思いますが、いま、大手が手掛ける仕事は、辛いところに手が届く的な、本来中小塾の専売特許だったようなことまで、実施していると感じます。

どの業界もそうだと思いますが、塾も大きい資本の企業に苦戦しているのが現状です。また、昔ながらのやり方で塾生を減らしていない塾もあります。10年後、20年後を考えると、しっかり情報を整理して方向性を考えていくときがきていると思います。

私塾ネットでもじっくり話し合いたいですね。

**塾団体 2018 合同忘年会**

2018年12月2日(日) 18:00～20:00 (17:30 受付)  
ライオン銀座クラシックホールにて  
※銀座ライオンビル 6F

時間 17:30 受付開始  
18:00 開宴  
20:00 終了  
第二次会もあります (希望者)

費用 ひとりさま 8,000円

主催：学習塾団体合同会議  
共催：公益社団法人 全国学習塾協会 / NPO法人 学習塾全區連合会議会  
全国学習塾協同組合 / 全日本私塾教育ネットワーク  
私塾協同組合連合会（東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、群馬学習塾協同組合）

WEBサイトからカンタン参加申し込み！▶  
主催：学習塾団体合同会議  
共催：公益社団法人 全国学習塾協会 / NPO法人 学習塾全區連合会議会 / 全国学習塾協同組合 / 全日本私塾教育ネットワーク  
私塾協同組合連合会（東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、群馬学習塾協同組合）

FAX : 03-6915-2294

## 塾 2018 合同忘年会

17:30～受付開始  
18:00開宴～20:00終了  
※第二次会もあります (希望者)

費用：おひとりさま 8,000円

主催：学習塾団体合同会議

共催：公益社団法人 全国学習塾協会 / NPO法人 学習塾全區連合会議会  
全国学習塾協同組合 / 全日本私塾教育ネットワーク

私塾協同組合連合会（東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、群馬学習塾協同組合）

### ＊＊＊ 参加お申込み方法 ＊＊＊

下の①②③いずれかの方法でお申込みください。

- ① FAXでのお申込み ▶下の参加申込書に必要事項をご記入の上、この面を表にして送信ください。
- ② E-mailでのお申込み ▶info@jja.or.jp まで、以下の必要事項をご記入の上送信ください。
- ③ WEBサイトでのお申込み ▶表面のQRコード(<https://form.watanabejuku.com>)よりお申込みください。

公益社団法人 全国学習塾協会事務局 (TEL : 03-6915-2293)

**FAX : 03-6915-2294**

塾の日シンポジューム2018東京大会「未来への勇気」  
主催：（公社）全国学習塾協会  
期日：2018年10月8日 会場：東京・如水会館

## 第1部 塾の日記念式典

## 開会の辞/会長式辞(安藤会長)

- ・来賓祝辞(経済省、文部科学省、全国学習塾協同組合)
  - ・祝電披露
  - ・業界自主基準遵守塾表彰
  - ・読書コンクール表彰
  - ・大会宣言/閉会の辞

第2部 記念講演

「人生の教科書」講演者 古賀稔彦氏

### 第3部 30周年祝賀パーティー

今年の塾の日は公益社団法人全国学習塾協会が今年30周年を迎えるという、とても記念すべき大会となりました。第1部の式典におきまして、安藤会長からは力強い言葉を頂き、来賓の方々からは教育に向ける熱い思い感じ、業界自主基準遵守塾の表彰では仲野代表や私塾ネット加盟の塾の皆様が表彰されている姿に憧れを抱き、作文コンクールの表彰ではまさに未来への勇気を受け取りました。

第2部の古賀稔彦氏の講演は圧巻でした。ご自身の栄光の一つである、バルセロナオリンピックでの怪我を押して掴んだ金メダルの逸話はいつ見ても感動を感じえませんし、その前のソウルオリンピックでの絶望からの復活劇のお話は教科書に



森、石井両巨頭による乾杯の発声でパーティーは始まる

載せるべき内容ではないかと思いました。真剣な語り口から、他の柔道選手のお話を軽妙に挟みつつ、絶妙なお客いじりもお見事でした。何とお手伝いした方や発言された方はサインをいただけます。なんて羨ましいことでしょう。そして柔道だけでなく人生にとって大切なことを語っていただき、これから成長するのに必要な何かを掴めた30周年にふさわしい素晴らしい講演でした。

第3部の懇親会では政界の方々からも教育への強き思いを登壇してお話ししていただきました。また、合間でのピエール小野さんの楽しい津軽三味線の演奏は場の空気を暖かくし、また一体感も生み出す素晴らしいものでした。楽しく心にしみる公益社団法人全国学習塾協会の30周年を祝う会は夜を遅くまで続きました。

報告：中村庸彦（エリア関東広報部長）



参加塾団体代表挨拶、左から宮沢(千葉組合)、一人おいて沼田(塾全協)、坂田(埼玉組合)、後多田(塾全協)、仲野(私塾ネット)、森(全国組合)の各氏(敬称略)

平成最後の今年、公益社団法人全国学習塾協会も創立30周年を迎えました。この節目の年の10月8日、東京一ツ橋の如水会館にて「塾の日シンポジウム2018東京大会」が開催されました。大会スローガンに「未来への勇気 これまでの30年、これからのは30年」を掲げて、これまでの先人の方々に感謝するとともに、塾業界の未来を見据えようというものでした。

前日の10月7日は、前夜祭として東京ナイトクルーズと懇親会が行われました。夕方東京駅前からオープンデッキのバスに乗り込み、芝公園・東京タワー・レインボーブリッジ・豊洲・銀座・国会議事堂前と、秋づいてきた東京都心の夜景を、普段の目線とは全く異なる高さで堪能しました。

当日の10月8日は、午後2時より塾の日記念式典が、午後3時30分より記念講演が行われました。講師として柔道家の古賀稔彦氏がご登壇くださいり、「人生の教科書」と題してご自身の柔道とまた後輩指導に大切なものは何かを熱く語っていただきました。

また、午後5時30分からは30周年記念祝賀パーティーが行われました。パーティーには、全国各地からお越しいただいた塾人の先生方はもとより、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣である桜田義孝先生をはじめ多くの国会議員の先生方にもご参加いただき、盛大に執り行われま

した。

来年は、場所を岡山県倉敷市に移し、「人工知能と教育」をテーマに「塾の日シンポジウム2019倉敷大会」が10月14日に予定されているようです。新しい時代を迎え、子どもの取り巻く最先端の教育環境を考えるのによい機会ではないでしょうか。

最後になりますが、「塾の日シンポジウム」はJJA主催の記念式典ではありますが、東京開催の折には、在京任意団体の皆様のご協力をいただき実行委員会を組織し、全国の塾人をお招きすることになっております。今回も当団体のエリア関東代表である渡辺浩先生が大会実行委員長を務め、多くの私塾ネットの先生方も実行委員会に加わりお骨折りをいただきました。ありがとうございました。 報告：村社圭一（エリア関東渉外部）



実行委員は私塾ネットおよび塾全協の先生方が中心となり構成された。委員長は関東エリア代表の渡辺浩先生

## エリア通信



### エリア関東 渡辺 浩 (渡辺塾・東京都)

夏の暑さが嘘のように、日一日と寒くなってまいりました。11月に入り首都圏の公立中学校では高校入試を決める大きな定期考査があります。どこの塾様も今は必死に生徒さんと向き合っているころと思われます。

さて、10月8日（祝）に東京神保町の如水会館にて行われました公益社団法人全国学習塾協会主催の「塾の日シンポジウム東京大会」には多大なご支援・ご協力を賜りまして本当にありがとうございます。大会実行委員長という大役を仰せつかり、団体の垣根を越えた先生方のご協力をいただき、大盛況に終える事が出来ました。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

私塾ネット関東といたしましては、9月2日（日）に毎年恒例となりました宿泊研修を行わせていただきました。場所は昨年同様神奈川県のSTEPP様の研修施設をお借りしての宿泊研修です。普段

あまり外には出られない龍井代表もお見えになり、高橋先生お手製のプロレベルのご馳走をほおばり、お酒を酌み交わしながら塾談議に花を咲かせました。今年も青森県から、安藤水無子エリア東北代表、福士先生、村戸先生にお越しいただき、研修施設に行く前に立ち寄った江の島で観光いたしました。

さらに、10月は21日（日）にお茶の水で国語科研修会を行いました。こちらも昨年に引き続いての第2弾ということで、文部科学省が推し進めるプログラミング的思考力に注目し、実は我々学習塾が行っている事はこのプログラミング的思考を指導しているのではないかと問題提起させていただきました。宮澤教科部長を中心に、柳田副代表にもご協力いただきトークさせていただきました。後半はサイラブの白井様に読解力について模擬授業を含んだご講演をしていただき、最後はナイスの檜和田様に記述解答の採点ポイントについてお話しいただきました。大変充実した内容に満足いたしました。

これからもエリア関東は研修を充実させ、会員塾の皆様にとって有意義な内容を提供してまいりたいと思います。



**エリア中国 西本 雅明  
(パワーゼミ西本・広島県)  
業界年齢**

私塾ネット中国の11月定例会は例年ですと忘年会ですが、今年は四国の研修会に参加することになりました。四国の研修会は、ただ聞いておけば良いというものではなくて、必ず何かやらされます。懇親会終了後は「説教部屋」へ招かれる。(今まで何とか逃げてきましたが) 役に立つことは分かっているのですが、だらだら仕事をしてきた僕にとってはつらい。なかなか年相応の落ち着いた気分になれません。会議の時はソワソワして、意見を求められればオドオドしちゃう。そんなこんなで「僕って大丈夫かなあ」と最近心配になってきたので、周りの先生方の様子を密かに観察してみました。そして分かったことがあります。

ほとんどの先生方は実年齢よりも様子と言動が若

い。関東のW辺先生やM社先生なんかは年齢を聞いてびっくりします。(もう立派なオッサンやん)。でもずっと「若手」「若手」と今も言われ続けています。青年だと思っていたけど実はオッサンという構図は塾業界ではどこにでも存在するんです。メンバーではありませんが広島の還暦を過ぎたO塚先生なんかは懇親会の後、先頭になって闇に消えていきます。尊敬しお慕い申し上げているO沼先生も・・・紙面に載せるには憚られるほど若い。以上の検証結果から塾業界の年齢は(実年齢-20歳)だと、勝手に決めています。

「僕はもう年だから、あなた方にお任せしますよ。」と仰る先輩方、実際にはマイナス20歳ですから、慌てて引退なんかしないようにしてください。できれば夜の街に連れて行ってくだされば「兄貴~」と、ついていきます。よろしくお願い申し上げます。

のようにいいかえることができます。

生前の先生からとくに印象深かったのは、③に関して「いい先生になりなさい」と言わされたことです。先生は「いい経営者になりなさい」とも言いたかったのでしょうか、前者を強調されたのは、それが古きよき時代の塾の先生の理想であったからなのでしょう。「いい先生」とはなにか。難しい課題です。そうあろうと努力していくことが大切で、そしてその方法こそ人それぞれなのでしょう。

例えば多くの人は、本紙の広報俳句にあつまつた方は俳句好きだねと思っているかも知れません。そのとおりです。しかし、私はこうも考えています。教える技術を磨く機会はいくらでもある。私塾ネットでも研修会を設けている。だが、私たちの教師としての心を磨く機会はどこにあるのだろうかと。俳句はそのための良い方法の一つだと思っています。詫間武俊は「『それをとってほしい』ということを幾通りで表現できるか」(『伸びてゆく子どもたち』)と問っています。俳句は地歩のレベルでそれに向かいあっています。

ふたたび、山口先生からの課題について思うのです。答えるのは、今の私たちではあるが、どうしようもなく困難なのであれば、その糸口の一つも残せたらと思うのです。

(註) アメリカで発達したプログラム学習のこと。日本での代表は公文式。山口先生が目指したのはそれと対極のピアジェ理論。



**エリア四国 十亀 幸雄  
(そがめ塾・愛媛県)**

**山口恭弘先生からの課題**

いま改めて山口恭弘先生のことを想っています。山口先生は2001年に初代私塾ネット理事長に就任し、会を主導されました。私塾ネット四国の私たちにとっても、特別の思いがあります。それは、小さくまとまりがちであった四国の地域の団体に属していた私たちを、全国の友人たちに結びつけていただいたことです。私個人にとっても、視野を高くするきっかけとなりました。

山口先生は、2015年、私たちへのいくつかの課題を明示されたあと亡くなられました。それは私たちにとって最も重要な問題、塾の先生としてのありかたについてでした。

先生は、学習塾に求められる最大の課題は、「学力の向上」であると言われ、そのための条件を4つあげられました(『実践』創刊号2009年)。

- ①目標を持つこと
- ②分からることを気にしないこと
- ③いい先生に出会うこと
- ④教わるのではなく自分から学ぶとする態度、あるいは学ぼうとする気持ち

これらは塾生の立場からのものでしたが、ほとんど塾の先生の立場に置き換えられるものです。

つまり

- ①どのような教育の目標をもっているか
- ②スキナ一流の教育理論(註)に懷疑的であれ
- ③教師もまた学びつづけているか
- ④アクティブラーニングであるか

## 塾・現場報告その③

大沼学院 代表 大沼信雄  
(エリア東北・宮城県)

昨年、私塾ネットに入会させていただきました。仙台市のベドタウンである、多賀城市に拠点を置く大沼学院の代表をしております大沼信雄と申します。

来年で開塾、四十年を迎えます。開塾当時は周りにはほとんど学習塾はなく、まだ大規模塾は見当たりませんでした。日本は高度成長期の真っただ中にあり、高校への進学率が高まり、田舎にも中学受験をする児童が増えてきた頃です。ただ、学習塾は職業としてまだ認知されていなかった時期だと思います。手書きのチラシで集まつた生徒は15人でしたが、その後は教育環境の変化と相まって、順調に塾生が増えました。徐々に多店舗展開する学習塾が現れましたが、塾長の目が塾生に届かなくなる規模は超えないようにしてきました。現在も変わりはなく、すべてのクラスで授業を担当しています。また、開塾以来続けていることは、送迎バスの運行です。経費は掛かりますがお薦めです。皮肉にも保護者の方には、学力向上よりも感謝されています。現在当塾の回り500メートルの範囲に11塾ありますが、三市三町から通塾していただいていることからも、一定の塾生確保に貢献していると思います。

私にとって塾人生最大の出来事は何といっても東日本大震災です。市内の40%が津波に襲われました。塾生の半数以上が被災し避難所での生活を余儀なくされました。本部塾舎も1.5メートルの津波で浸水しました。

当初はライフラインのすべてが絶たれたなか、塾生の安否確認と、生活物資の確保に奔走しました。そんな中で、避難所での塾生の状況を見ているうちに、何とか早く塾を再開しなければと思うようになりました。春期講習を予定通り実施する準備を開始しました。送迎バスが流されてしましましたので、新潟経由で長野に行って送迎車と二週間分のガソリンを確保して来ました。すべての塾生に連絡を取ることができ、3月26日予定通り講習をスタートし



ました。停電が続いていたので机を窓側に向けて明かりをとり、トイレの水を各階に用意しました。もちろん、講習料金を頂くわけにいきませんので無料で実施しました。多くの塾生、保護者の皆さんから感謝されました。多くの方が被災しているのに仕事をしてもいいのだろうかと葛藤はありましたが杞憂でした。いかに早く日常を取り戻すことが重要なのかを学びました。

現在私は、学習塾協会で防災担当の常任理事をしております。震災の経験を踏まえて「子どもたちの命を守る」という原点に立ち、民間教育機関における防災マニュアル作成の手引きを作成しているところです。今後、皆様のご指導を頂ければと思っております。

今生を去る直前まで教壇に立ち続けたいと思っています。趣味は塾ですので皆様、仲良くしてください。



「趣味は塾」、生涯現役をモットーに今も教壇に立つ

# ～素晴らしい全国研修～

平成31年（2019年）4月21日（日）  
私塾ネット全国研修会館？

東京駅から歩いて1分。。。のところにあったらしいですね。

そうですね。もう17回目ですね、来年の全国研修会は。。。

東京で4月21日（日）にやりたいこと、久しぶりだから東京ではない場所でも構わないこと。決まっているのはこの程度で、何も具体化されません。（T\_T）すみません。\_(\_^)\_

さて、どうしようか。。。過去の会（初期の頃）を振り返って参考にしてみます。

2001年（H13年）に私塾ネットが設立され、私はどうやら第3回の2004年に鈴木正之先生から全国研修を引き継いだようです。えっ～！15年も経つのですね。もしかしてこの15年で担当が変わっていないのは僕だけなのでしょうかあ？？？(^\_^;)あっ！ちがう！谷村先生が広報の編集長を長年続けていらっしゃいました。谷村先生ありがとうございます！

## 第3回 2004年（H16）4月25日

21世紀『人・創造』 東京 大井町きゅりあん

『首都圏高校受験事情』 新教育研究協会 芳賀栄久 様

『子供を伸ばす5つの法則』 成基コミュニティグループ代表 佐々木喜一先生

（株）成基学園副理事長（現対話教育研究所）小山英樹先生

『分科会』 A：個人情報保護法実務対策 “名簿は使えるのか？”

私塾ネット東北代表・（社）全国学習塾協会理事 関志郎先生

B：スタディポイントカードが塾業界を変える（株）東京キヨーイクソフト

C：「子どもを伸ばす5つの法則」ディスカッション

ここが教育コーチングとの出会いですね。

## 第4回 2005年（H17）4月24日

新しい教育のかたち 『人を創る・学校を創る』 東京 新宿区立産業会館

『私塾ネット各エリア 元気塾ノウハウ公開！』

「おもちゃばこをひっくり返したような教室から…」札幌進学教室 入江昌徳先生

「社訓！！人を勝たす」 東京・ナカジユク 仲野十和田先生

「授業・診断・対話のバランス」 広島・栄光プレップ 北川健治先生

「開塾12年で2000名」 香川・啓真館 原田真一先生

『塾が創る「夢の学校」』 （学）片山学園理事長・富山育英センター代表 片山淨見先生

『人を創る モチベーションアップ・感動創造』

牛角（株レインズ）で、モチベーションアップ！赤字店が一気に大黒字に！

（有）サードステージカンパニー代表 森憲一 様

ずいぶん盛りだくさんですね。午後1時～5時30分までびっちりと研修です。

## 第5回 2006年（H18）4月23日

『感即動 感動が人を動かす～生徒が感動する授業の創り方～』 東京 大井町きゅりあん

（株）アビトレ代表 木下晴弘先生

『私塾ネット 元気塾ノウハウ公開！』長野・チャレンジ学院 松本紀之先生 （10ページに続く）



# 私塾ネット関東・秋季研修大会

## テーマ：情報化時代に必要な国語力Ⅱ

報告：エリア関東広報部長  
中村庸彦（中村学院・神奈川県）

期日：2018年10月21日

会場：ワイム貸会議室（御茶ノ水）

秋空も高く、日差しも落ち着いて来ました日曜日。昨年、好評を博しました「情報化時代に必要な国語力」の第2弾。御茶ノ水駅から徒歩5分ほどのワイム貸会議室にて行われました。お話をいただくメンバーはおなじみ渡辺浩代表、柳田浩靖副代表、宮澤歩教務部長のお三方。

渡辺先生のご挨拶の後、宮澤先生の進行により会がスタート。



テーマはプログラミング。

プログラミングの語源はプロ=前に、グラム=書かれたものというものから。

そこで突然プロジェクトに流れる、あたりまえ体操。参加者全員で「右足を出して左足出すと～～歩ける！！」とエクササイズ？

皆さんキヨトンとされる中、「歩きたい」という目的があって何をどの順序でやれば良いかを考えること。これはまさにプログラムである」

なるほどと感心する中、文科省の発表した「小学校プログラミング教育の手引(第一版)」の中より「プログラミング技能を習得することが考えられるが、それ自体を狙いとはしない」との文言が。では、何を習得させるのか？それは「プログラミング的思考」である。

例えば正三角形を書くという目的に対して何をどの順序でやればいいか。またそれをさらに簡素化するにはどうすれば良いか？やりたいことそのための問題解決、またその手順の流れを考え、作り出す。それにより、誰でも問題解決ができるようになる。これは具体化から抽象化のことではないか？

次々と語られる「プログラミング的思考」についての考えにただ深く頷くばかりでした。

続いて「ものの流れを可視化するものである」ものとして、フローチャートのお話に。コンピュータや数学の中ではおなじみのフローチャートですが、日常行なっているものを可視化することで、誰もが同じ行動を取ることができる。流れ

を解説することによって行動を一元化できる有効な手段であります。

コンピュータと言えばデザインオフィスズキの鈴木学さん。HPを作る時のフローチャートとはどんなものかとの質問に、コンバージョン（最終的な結果）を作り、そこにきちんと収まるようにページのどこに誘導するかの流れを作る。その流れを作ることこそプログラミングであると、お答えいただきました。

他にも料理のレシピはフローチャート、中3の因数分解の流れもフローチャートでOK！

そこからは模擬授業3連発。まずは柳田先生の国語の品詞分解。気合で解くと言う人間味を含んだフローチャートで見事な分解作業を教えていただきました。



続いて渡辺代表の現代文の模擬授業、の予定でしたがその前の模擬授業が少々伸びてしまったので、ポイントだけ。要約をやらせて内容を理解させる。キーセンテンスを探させてキーワードを書きぬくようにする。その後文章構造的に理解させる。その後文章読解をやらせる。ポイントだけでも大変参考になりました。

最後に、ゲスト講師として株式会社サイラブの白井孝明代表に文章読解の模擬授業を行っていただきました。偏差値65以上の難関校の論説文の読解問題でしたが、すごいの一言。

たったこれだけのことで、問題が解けるのか、本当にこれでいいのか。白井代表もおっしゃられていましたが、不安になりました。「合格者の平均点は6割。5問中3問解けましたね。これで6割、合格です。」素晴らしいオチもつき、感動いたしました。

続いてナイスの檜和田様より作文での添削のポ

イントのお話。ここでしか聞けない詳しいポイントを聞けました。作文の原点箇所の例文を集めたプリントをいただきましたが、是非とも解答をいただきたいです。

こうして第1部は終了し、懇親会、二次会へ。懇親会から加わる先生もいらっしゃって、やっぱり大盛り上がりの会となりました。

#### 追記

もう少し、とても素晴らしい模擬授業のお話を書きたかったのですが・・・もったいない！是非皆さんに体感していただきたい！次回は奮ってご参加下さい！！



仲野理事長からおしゃかりを受けるの図？！ではありません。今日の研修会を総括して、理事長から労いの言葉に恐縮する渡辺、柳田の浩ちゃんコンビ



ナイスの檜和田氏の作文ポイント指導。



サイラップの白井代表による文章読解の模擬授業。スゴイの一言

## お勉強のあとはお遊び！ 放課後が大好きな皆さん これだから私塾ネットの研修会は休めない！



研修会のあとは部活。放課後の部活動に熱心な皆さん。それぞれの表情に、この日の充実ぶりがうかがえます。ちなみに、エリア関東のグループラインには、深夜まで続く部活動の様子が中継されておりました。この日幸か不幸か自宅待機の編集者は、この現場中継を一人酒で付き合いながら楽しめていただきました。続報によると翌日も東京ナイトを楽しんだ猛者がおられたとか。しばしの「慰労」が「疲労」にならぬよう、「前夜のつけは明日に持ち越さぬ」の精神で、毎日の授業に臨みましょう。（老婆心）

(7ページより続く)

広島・学習共同体グループ 河濱一也先生

徳島・楠山ゼミナール 楠山敬志先生

木下晴弘先生が初めて関東にいらっしゃったのがこのときです。ここから木下先生の関東での勉強会が始まります。この年は千葉で5回に渡り奥深い勉強をさせていただきました。「自分が源泉」「ビジョナリーカンパニー オアの抑圧とアンドの思想」「ピートグレイ」「木村秋則さんの奇跡のりんご」すべてここが出発点です。個人的にはこの前年、木下先生の勉強会のために大阪まで10回通いました。始発の新幹線に乗り午前10時から午後12時30分まで研修。夕方の授業に戻るという素敵なものでした(^^)/。

第6回 2007年(H19)4月22日

『経営とは』『営みを経て人を幸せにする・幸せになることである

～子どもの能力を全開させるために～ 東京 品川プリンスホテル

(株)インテリジョン会長 小林恵智様 代表 古野俊幸様

『私塾ネット 元気塾ノウハウ公開！』

「1人：30人の個別指導で、県内トップ校へ」青森・志学塾 畑山篤先生

「パロス個別指導システムで生徒数大幅アップ」千葉・しののめ研成義塾 浅輪信子先生

「ハイセンスな教室。帝国ホテル設計士が内装担当」徳島・文化の森スクール 近藤誠介先生

(以上、役職は当時のもの)

2004年から2018年の過去一覧を載せるつもりだったのですが、1回1回それぞれ、思いに耽ってしまいました。来年4月21日(日)東京、絶対に来てください。

## 教育・不登校フォーラム in 越谷 に参加して 副理事長 中村直人 (中村学院・神奈川県)

平成30年10月13日(土)に、越谷市市民活動支援センターにて、NPO法人フォーユー研究会主催、後援：吉川市教育委員会・越谷市教育委員会、協力：つばさ高等学院・つばさスクールの「教育・不登校フォーラム in 越谷～子どもがつまずいた時に大人はどう関わるか？～」というセミナーが開かれました。司会は、小野田光伸先生です。

1. 研究会代表理事の仲野十和田先生ご挨拶  
6年ほど前に吉川市で通信制高等学校サポート校、つばさ高等学院次いでつばさフリースクールをはじめる前後に、「不登校の子供を持つ親の会」に参加する機会を得ました。その中で不登校の子供を持つ親の学校に対する要望を聞き、また中学校の先生方との会合などを通じて、「子供を幸せにしたい」という思いは皆同じであるものの、三者が共通の土俵で話し合う場がなかなかない。それで、子供のことで共通して分かち合える場が持てないだろうかということで研究会を立ち上げました。また、学校に行かなくていいんだ、ということではなく、学校でその子が頑張って幸せに生活できるなら行った方が良いし、ちょっと行けないという子は避難場所として、フリースクールや公共の施設に行けば良いと考えています。地域の学校とフリースクールと親の



三位と、あるいは地域の人達とでその子供が生き生きと過ごせるような空間を作ることが大切だと思います。親も子供も不登校ということにネガティブに思ってしまうところがまだありますが、不登校についてオープンに話し合いそして聞く機会を通じて悩みを共有できる場を、ということで今日のフォーラムを開催いたしました。

### 2. 基調講演「子供を勇気づける3つの言葉」

文教大学教育学部教授 会沢信彦氏

出囃子にのって登場の会沢先生、軽妙なお話しぶりで、かなりの寄席好きとお見受けしました。まず、『不登校は「問題行動」ではない！』ということを平成28年に出来た「教育機会確保法」と「不登校児童生徒への支援の在り方について」という文科省の通知を引いて、学校の立場を分かりやすく話されました。不登校が問題行動とまだ思っている学校の先生方に、この新しい考え方方が浸透することが望まれます。

次いで、教育の目的→(人格の形成)=(自己実現)についてお話をなさり、菅野純先生の「心のピラミッド」の紹介をされました。そして、自己実現の条件として、(1)基本的信頼感(2)心のエネルギー(3)社会的能力(+学力)この力として①ソーシャルスキル(人と付き合っていける力・自分を抑える力)②自己有用感(自分は役に立つのだと思えること)③レジリエンス[心の回復力]

(困難な状況にもめげないこと)を挙げ、詳細に解説をされました。

最後に、我々は何ができるか。として、「子供を勇気づける3つの言葉」を示されました。（ありがとう）（うれしい・うれしかった）（助かった）の3つです。肯定的な感情を伝えることが大切ということです。早速ご自分のうちで奥様・旦那様・子供に使ってみることが宿題となりました。

### 3. アトラクション

シンガーソングライター 佐野碧氏

始めに、つばさフリースクールを訪れての感想を話されました。自身も高校中退で中卒から大検をとり大学に行った経験を持ち、ある先生との出会いの一言が嬉しく、ここまで成長してやってこれた、とのことでした。つばさでの生徒さんの自由な様子を見て、先生方に受け入れてもらえた「安心」

がその場にあることを感じて、これからも「安心」を自分の音楽の中で大事にしていきたい、音楽も教育も「安心」は同じ1つのテーマなのだなと思い、今日みなさんとこの場所に同じ方向を向いていられることを嬉しく思いますと、話されました。

安心というところから夢をもてるのではないか。安心だから自由に表現できる。大人の夢を作り子供に伝えていきたいと、どんどん熱く語られました。一曲目、新曲「夢」。二曲目は、今日集まつた人と1曲作りたいと、まず小野田さんに質問を振って「好きなこと」「好きな言葉」を引き出し、どんどん出席者にそれを聞いて回りホワイトボードに20近く書き出し、ほんの少し眺めた後、仲野先生のギターに乗せて、ラップ風に即興で書いた言葉を全部歌詞に入れ、歌いきました。

三曲目は、仲野先生の伴奏で「糸」を皆も参加して歌い、さらにもう一曲歌いたいと言う事で、会場にいる二人の方の名前を入れて、応援歌「野球の虫」を歌われました。素晴らしいゲストを呼んだ仲野先生、ファインプレイ！

—休憩の後—

### 4. パネルディスカッション

会沢信彦氏、不登校の子を持つ親の会代表  
平井幸子さん、公立中学さわやか相談員

大熊あゆみさん、フリースクールスタッフ  
田村かなめさん 司会：小野田光伸先生

平井さんは、次女の小5から5年にわたる不登校のつらい時期に試行錯誤した苦闘を語られました。最後には、子供を信頼し自分を許せるようになった

教育・不登校フォーラム



体験や気付きを生々しく具体的に話されました。大熊さんも高校中退から大検を取得し、自分の経験をいかし相談員として学校の先生の指導ではなく、気持ちを聞いてあげる、また共に考え時には提案するという柔軟な姿勢で生徒と向き合っておられます。田村さんは、フリースクールで不登校の子との関わり方でどうすれば良いという正解はないのではと話されました。一人ひとり話を聞き、周りの先生方とも相談して何がその子にとって必要かを日々自分に問い合わせ対処しているそうです。怠けているように見えてもその時はそれで精一杯だったと理解するようにし、そして子ども自身が自分で立ち上がる力を持っているということを、周りの大人が信じることが大切だということ。できたことを認めてあげること。本人がこうしたいが今はできないということには、こうなったらしいね・こうしたらいいねと生徒によりそう言葉かけを心がけているそうです。色々小野田先生の的確な誘導で有意義な話が沢山出たのですが、紙面の関係で詳細を書くことができないことをお詫びします。

### 5. クロージングセミナー

「発達障害について～学校の現場から～」

元公立中学校教員： 杉浦亨氏

先生は、教員として中度の知的障害を持つ特別支援学校、次に軽度心身障害児童の特別支援学級の担任を持ち、後半の10年は軽度の発達障害、今はアスペルガー症候群とかADHDとかLD・学習障害と言われる子供たちと関わってきました。その特徴にいろいろと名前は付いていても、その程度は千差万別です。まわりからからかわれ、いじめられてつらい思いをしている子の良い所を見つけ、なんとか苦しい所を取っ払おうと勉強されてきたそうです。ご自身の学級からの卒業生と娘さんの不登校の話を例に、なにか一つでも自信が持てれば、大きく成長するということを訴えられました。先生の温かいお人柄のにじみ出た、心にしみるお話でした。

終了後、個別の相談の場が設けられ、残られた佐野さんともお話しする席も作られました。今回私も参加して、大変充実した有意義なセミナーだったと思いました。



## 私塾ネット エリア関東・エリア東北 合同懇親旅行 2018年9月2日・STEPシーサイドラボ(茅ヶ崎)

猛暑酷暑に台風と、悪天候が続いた8月を終え、今年も行いました合同懇親旅行。前の週までは35度～30度と猛暑日もあったような日々でしたが、9月2日(日)は最高気温が24度といたって過ごしやすい清々しい気温。天気は曇り空でしたが、それを補ってもあまりある気候でした。

スタートはお馴染みの東京駅。レインボーブリッジを通過し、目指す最初の目的地は「江ノ島」。弁財天を祀る江島神社や長い道のりを進んでの洞窟江の島岩屋、島のそこそこにあるちょっと便利なエスカー、そんな島の周りにはところ狭しとお土産屋や食事処や露店が立ち並びます。着いてからは江ノ島を隅々まで歩く方、少し登って満足された方、果ては一切登らず海産物とアルコールにひたすら舌鼓をうつ方まで。みなさん様々な形で江ノ島を堪能されたようです。

江ノ島観光を終えて向かうのは昨年も大変お世話になりましたSTEP様の研修施設「シーサイドラボ」。

今年もSTEP高橋先生、谷村先生、湯口先生、田中先生と豪華シェフ陣。（高橋先生からは事前にメニューが送られてきたそうです！）次から次へと出てくる絢爛豪華な料理の数々に舌鼓を打ち、各地のみなさまがお持ち下さった銘酒美酒に喉をうるおし、楽しくかつ熱い教育談義が机上を飛び交いました。

個人的にはマグロカツとぬれいか天に特に感動しました。

少々、お酒が過ぎて翌日起きられない人がいたのはご愛嬌。

まさに私塾ネットらしい楽しい交流ができる、最高の懇親旅行となりました。



おいしい手作りの料理と、楽しい会話、役に立つ議論、素晴らしい一夜があっという間に過ぎていきました。



# OKK『大井町から教育を考える会』主催 2018年度「第13回教育講演会＆中学高等学校相談会」 2018/10/27 於：きゅりあん（品川区立総合区民会館）

エリア関東会計部長 木谷朝子（OKK理事長）  
(木谷塾・東京都)

2018年10月27日に開催されたOKK『大井町から教育を考える会』は、現体制になってから13回目を迎えた。13年前といえば、愛知県で「愛・地球博」が開幕し、「電車男」がベストセラーになり、「青春アミーゴ」がヒットするなど社会に明るい兆しが見られた時代であった。その3年後にリーマンショックが訪れるなど予想もしていない時だった。経済を立て直し、現在の日本に修正した民間の底力は目を見張るものがある。その力の源泉は教育であると確信している。この年、2005年に開催した第1回教育相談会から現在に至るまで、生徒・保護者の真剣な相談には各校の先生方も時間など忘れるほどだ。

そのような相談会を通して、保護者の方から感謝されていることがある。先生は共学校のI先生。生徒は、I先生の学校が第一志望の中3男子（内申点は足りている）。I先生は、生徒の将来を含めて、はっきりしない挨拶・返答をたしなめてくれたのだ。さらに保護者に自立心を持たせるように助言を

してくれた。

保護者の方とは、その後も塾でお会いしているのだが事あるたびに感謝の意を伝えてくれる。1つのブースの出来事だがOKKの相談会では、各ブースでこのような場面に遭遇できると思う。これもまた、OKKならではの相談会だと思う。

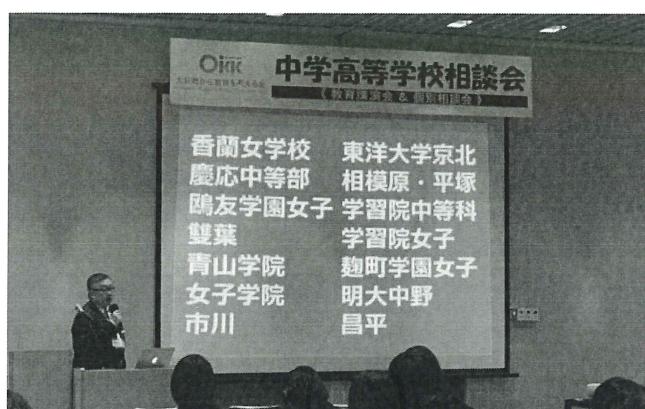
今年の教育講演会では、「声の教育社」の三谷潤一氏から、「2019中学入試・高校入試の最新情報！」という今知りたいことを分かりやすく、丁寧に説明して頂き、何でも相談コーナーではより詳細な情報を求めて行列ができていた。今年は、3時間30分という短時間の相談会になったが、130人余りの入場者があり、濱野健品川区長代理の総務部長榎本部長から激励のお言葉を頂き、品川区商店街連合会と品川区商店街振興組合連合会の後援、企業の協力を得てこれからも子供たちの教育の為に力を合わせていくことを再認識した今年の教育相談会だった。

後援：品川区、品川区商店街振興組合連合会

協賛：株式会社三谷潤一



開会式での実行委員長のトキワ松学園阿部教頭先生のご挨拶



声の教育社、三谷潤一氏の最新入試情報講演



私学の先生方の個別入試相談



大活躍のOKK理事長の木谷先生(エリア関東会計部長)

## 私塾ねつと誌上句会 第三十三回

### 杉風に御寺の庭の紅葉ゆれ

中村直人

秋暮れて灯に照らされし詩碑閑か  
中村さんは最近京都、滋賀方面を旅したとお聞きしている。この「御寺」はいすれかの地の名刹であろう。上五にあえて「すぎかぜ」と御ビをふつた意図はなに?芭蕉十哲の杉風(さんぶう)を意識した工夫ですか?

### 菓子もらう行列長しハローウィン

長江勝秋

### デザートの柿とりんごのある食事

(神奈川県)

ハローウィンというイベントは、10月31日と期日が明確だから、そもそも季語として扱つてもいいだろう。先輩格のバレンタインデイはすでに歳時記に記載されている。

### 夕餉にと香味優しき酢橘狩

木内恭裕

(徳島県)

秋の味覚として秋刀魚は大人気だが、これに添えられるスダチも名わき役として欠かせない。三陸の秋刀魚と阿波の酢橘が盛られた一皿わは、黒潮と親潮の出会いが演出されていて痛快だ。

### 荒川を歩いてカチリ秋が來た

十亀幸雄

(愛媛県)

荒川の匂、河原を歩いて靴先に触れた小石の「カチリ」とした感触。微細な触覚と聴覚で季節の巡りを感じるという、いかにも日本的な感觸である。季節を詠む俳句の真骨頂ここにあり。

### 柿たわわ採る者もなき旧家かな

谷村志厚

(千葉県)

「たわわ」という擬態語は、晚秋のよく熟れた柿の様を表現するにかけて九州に達する。およそ1日20キロ程度かな。

編集部からお願ひ  
次号は2月中旬発行の秋号です。  
投句はお一人3句まで新春・春季語でお願いします。  
投稿はメールshiko.1949@aim-net.co.jpまたは  
FAX047-368-2189 谷村志厚  
締切は2月10日です、ふねつい投稿ください。

### 閑話休題(編集後記)

編集長 谷村志厚

◆「AIM通信は今号から体裁が変わりました。世の中何事もコンピューターの時代。どうにかこうにかパソコンソフトが使えるようになりましたので、パブリシャー98という編集ソフトを使って発行することとしました。これまでのような切り貼り制作の時代は、そろそろ終わりのようです。「おまえも終わりだ」といわれぬよう、中年男もパソコンのご機嫌とりというわけです。しかしこのパソコンという奴、つきあえばつきあうほど深い奴で、こやつの深情けにおぼれてしまいそう。しかし機械相手の不倫なら奥様も怒らぬでしょう。」さてこの一文は何かといふと、今から20年前の2018年6月18日発行の、当塾のAIM通信152号の編集後記の一文である。以降20年、世はまさにITの時代、パソコンとの日々のお付き合いも深くなり、そして現在、当広報誌も前述のパブリシャーなる編集ソフトで組んでいる。編集もパソコン操作も素人とはいえ、20年もやっていればなんとか身についてくるもの。おのずとお互いの気心も知れ、いわば蜜月状態となっていた。しかししかし、好事魔多し。この6月どうもパソコンの不具合が気になりだした。時にフリーズし予期せぬ反応を示す。使っているデスクトップも5年物にしてOSはウインドウズビスタなる骨董もの、そろそろ買い替え時とは自覚していた。そこで、外付けCDドライブを取り出し、あわててデータのバックアップにあつぱあつぱ。そして別れの朝、まさに何も言わずパソコンが完全停止。「こやつの深情けにおぼれている」うちに、すっかり取り残されるはめとなった次第である。私塾ネット広報の前号63号は、バックアップしていた過去のファイルと当号の入稿データを確保し、どうにか発行日に間に合わせることができた。だが、今後の余波は大きい、メールのアドレスや通信記録、経理ソフトのデータの消失は、あ

いたたた、さてどうする。皆さん、なんでもかんでもパソコンにお任せの皆さん、なにとぞデータとハードのバックアップは、お忘れなくこまめにおやりください◆このような経緯をきっかけにメールアドレスを変えることにした。なにしろ20年近く使ってきたアドレスなので、連日迷惑メールの山。ついには自分自身のアドレスが発信人となる、怪しげなるメールまで来る始末。しばらくほったらかしていたのだが、ひょんなことから文面を見ると、不愉快な内容で挙句の果てに、いついつまでにビットコインで○○○を支払えとの脅しにまでエスカレート。これは面倒だと当方のネット管理者と相談の上、旧アドレスはすっぱり捨てることにした。その結果、いやいや減ったメールの数が、なんだかむしろ寂しい思いがする。それから2ヶ月ぼちぼちと要らぬメールが届くようになってきた。今回の編集で入稿上のトラブルがあったのは、新アドレスが徹底していなかったことが原因で、一部の方に迷惑をおかけした◆12ページで報告のあった合同懇親旅行の後日談。9月3日懇親会の帰路、藤沢市の遊行寺に立ち寄った。俳句仲間でもある中村さんが同行する。ここは臨済宗の本山で、小生の里の愛媛に縁の深い寺で、一度見学したいと願っていた所だ。参拝後中村さんをJRの戸塚駅に送る。初めての地理なので少々迷いながらも、駅前ロータリーに車を入れ中村さんと別れる。するとそこに若いお巡りが手招き。いやな予感がするが、まさか? そうそのまさか、このロータリーは午前中のある時間まで進入禁止だという。こちらは他県から来た老人で事情が分からぬ、なんとかお見逃しをと演じてみたが、それは甘くない。結局違反切符を切られてしまった。

「ロートルに違反切符やロータリー」チャンチャン。

# 私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長 鈴木正之(いぶき学院)

中学3年生の理科の授業。15人ほどの塾生に「太陽がどちらからのぼるのか」と聞いてみると、真剣に「西」とか「南」と言う子がいた。それでは「日の出や日の入りを見たことがあるか」と聞いてみると、ぱらぱらと数人の手が上がる。確かに、ここで品川区では気がつくとビルの谷間に日が昇っていて、気が付くと日が沈んでいる日々。大海や大地からのぼる太陽、沈む太陽は見られない。日の出や日の入りは高層階に住んでいる塾生だけが見ることができる程度かもしれない。だから、身近な自然を取り上げ、生活に最小限必要な知識を理解するための中学校理科が、ここでは身近なものではない。入試に出るからと丸暗記をする子も少なくない。我々はそれを考えさせ理解させ暗記に頼らない学びをさせていかないと、理由を考えない（身近なものの不思議さを感じない）人間が沢山育ってしまう。理由をわからうとしないと、言われたことすらできない人間になっていく。

不登校で相談に来た中学生のお母さんに、「お子さんは失敗したり苦労したり辛い思いをした経験がないのでは」と尋ねると、「はい、ないと思います」との即答。自分の子供には辛い思いをさせたくないという気持ちから、子供の宿題をやり、忘れ物をチェックして全てにおいて親が管理。失敗すると親が子供の責任を取る。大切な時期に、自分で考え実行して失敗を受け入れることと、責任を取る経験をせずに中学生になってしまったのだ。その子は周りから見ると少しの困難、少しの失敗であるにもか

かわらず、悩み苦しみ絶望しすぐ諦めてしまう。しかも、今まで何不自由なく暮らしてきたから有難さを知らない。身の回りの出来事は当たり前の中にあるからだ。

太陽は日々昇り沈む。そんな当たり前の日常からは太陽の有難さを知る由もない。当たり前に起きていることに対して、周りをそして自分を見つめ直し、自分が自然の中の一部であることに気づくことができたなら、人は感謝の気持ちを持てるのはないかと考えさせられた。

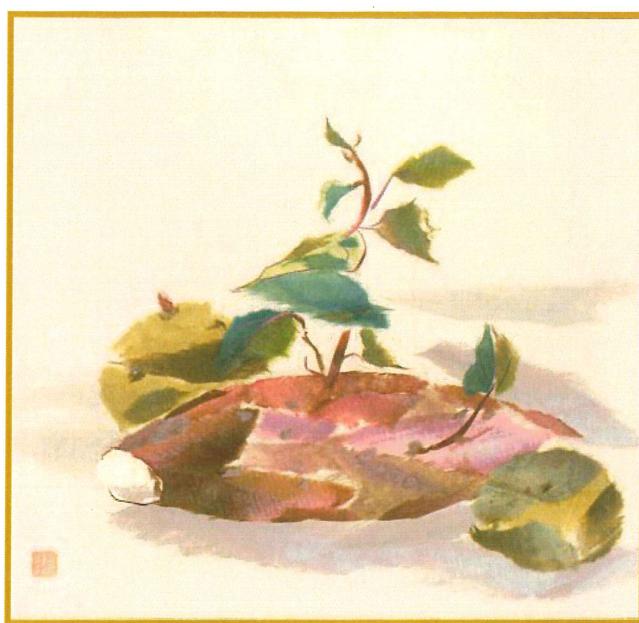
さて、学習塾協会の塾の日記念式典では、私塾ネット関東の仲間が大活躍。10月21日には、エリア関東の国語科研修会も開催され関東の若手（？）は大忙しの10月であった。

そして、11月4日にNPO塾全協の研修会及び懇親会が行われた。ご講演は出口汪先生。私の心に残った出口先生の言葉をいくつか挙げてみる。「記憶と計算はA1が一番得意とするところ、読解力が無いと仕事が無くなる。」、「英語は翻訳機が翻訳できる。」、「12歳まで教えてはいけない。それは何も考えず覚えるから。一緒に発見したり一緒に学んだりすることが大切。」覚えさせ、得点の取り方を指導して合格させても、A1の世の中で何の役に立つのだろうか。それは我々にとっての大きな課題であると思う。

この広報が到着するころ、11月11日（谷村会長birthday）はエリア四国の秋の宿泊研修会が開催される。あわただしい秋が終わると、受験、さらに塾生募集と尽きることのない忙しさだ。来年4月の研修大会で皆さんとお会いできることを楽しみに頑張りたい。

ちぎり絵歳時記⑪（芋） 作画・中村光江

さつま芋の語源はもちろん九州の薩摩。17世紀の末頃、中国、琉球を経て薩摩へ上陸した。よって「唐いも」「琉球いもの呼称もある。じゃが芋はジャワ島のジャカルタの地名に因んでとの説が一般的で、これもさつま芋と同時期に日本に上陸した外来種だ。一方里芋はずつと古くから日本で食されていた。山に自生するイモに対して、里で栽培されることから里芋と呼ばれるようになったようだ。それだけに各地に異名が多くある。ところで里芋の産地はどこですか？関東では芋煮会からの連想で、山形あたりかと思われる方もいる。実は日本一の産地は、小生が住む千葉県。首都圏の大量消費地が近いせいもあるが、落花生にしろ里芋にしろ大地から産まれる産物に千葉の北総台地は強い。前述の「芋煮」で思い出すのは、小生の里の愛媛県大洲市。この地の秋の名物が肱川の河原でも催される「芋炊き」。この地では「煮る」と言わないで「炊く」と言う。食文化の違いがうかがえて面白い。（谷村）



さつま芋じゃが芋南北地の風味（直人）

## 賛助会員一覧（順不動）

<b>関東国際高等学校</b>	村山サントーラー先生 TEL03-3376-2244
東京都渋谷区本町3-2-2	
<b>江戸川学園取手中学高等学校</b>	竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771
茨城県取手市西1-37-1	
<b>東洋高等学校</b>	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
東京都千代田区三崎町1-4-16	
<b>桜丘中学高等学校</b>	高橋 知仁先生 TEL03-3910-6161
東京都北区滝野川1-51-12	
<b>聖徳大学附属女子中学高等学校</b>	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
千葉県松戸市秋山600	
<b>麹町学園女子中高等学校</b>	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
東京都千代田区麹町3-8	
<b>春日部共栄中学高等学校</b>	宇野 稔弘先生 TEL048-737-7611
埼玉県春日部市上大増新田213	
<b>東京立正中学高等学校</b>	安原 正樹先生 TEL03-3312-1111
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	
<b>八雲学園中学高等学校</b>	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
東京都目黒区八雲 2-14-1	
<b>関東第一高等学校</b>	副田 康孝先生 TEL03-3653-1541
東京都江戸川区松島2-10-11	
<b>武蔵野中学高等学校</b>	後藤 伸一先生 TEL03-3910-0151
東京都北区西ヶ原4-56-20	
<b>和洋国府台女子中学高等学校</b>	和田 伸平先生 TEL047-371-1120
千葉県市川市国府台2-3-1	
<b>東洋大学付属京北学園</b>	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
東京都北区赤羽台1-7-12	
<b>大森学園高等学校</b>	増田 宇先生 TEL03-3762-7336
東京都大田区大森西3-2-12	
<b>東京成徳大学中学高等学校</b>	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
東京都北区豊島8-26-9	
<b>日本工業大学駒場中学高等学校</b>	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
東京都目黒区駒場1-35-32	
<b>青稜中学高等学校</b>	伊東 充先生 TEL03-3782-1502
東京都品川区二葉1-6-6	
<b>東京女子学園</b>	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
東京都港区芝4-1-30	
<b>駒込中学高等学校</b>	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
東京都文京区千駄木5-6-25	
<b>愛国中学高等学校</b>	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
東京都江戸川区西小岩5-7-1	
<b>安田学園中学高等学校</b>	磯 正樹先生 TEL03-3624-2666
東京都墨田区横綱2-2-25	
<b>日本音楽高等学校</b>	伊庭 崇先生 TEL03-3786-1711
東京都品川区豊町2-16-12	
<b>立正大学付属立正中高等学校</b>	今田 正利先生 TEL03-6303-7683
東京都大田区西馬込1-5-1	
<b>上野学園中学高等学校</b>	高橋公美子先生 TEL03-3842-1021
東京都台東区東上野4-24-12	

## 二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

## 村田女子高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

## 自由学園（中等部・高等部）

東京都東久留米市学園町1-8-15

## 京華学園

東京都文京区白山5-6-6

## 武蔵野大学千代田高等学院

東京都千代田区四番町11

## 目黒日大中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

## 共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

## 中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

## 東京女子学院中学高等学校

東京都練馬区関町北4-16-11

## 文教大付属中学高等学校

東京都品川区旗の台3-2-17

## 国際高等専門学校

石川県金沢市久安2-270

車田 忠繼先生

TEL03-3261-9288

二渡 道雄先生

TEL03-5940-4455

更科 幸一先生

TEL042-422-3111

今野 巖先生

TEL03-3941-6493

渡部 隆巳先生

TEL03-3263-6551

天野 正貴先生

TEL03-3492-3388

松宮 博先生

TEL03-3601-7136

富田 義道先生

TEL03-3642-8041

宗内 信二先生

TEL03-5903-9559

神戸 航先生

TEL03-3783-5511

松尾 多郎先生

TEL076-248-1080

## ㈱創開コミュニケーション

千葉県柏市柏2-7-22-202

小林 和光様

TEL04-7164-6511

山田未知之様

TEL03-3987-0838

## ㈱私塾界

豊島区東池袋1-39-1三善ビル

板橋 玲様

## ㈱S R J

中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル9F

TEL03-6865-6380

## デザインオフィスズキ

千葉県柏市柏687-6

鈴木 学様

TEL04-7164-8276

## ㈱エピュケーションナルネットワーク

千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F

齐藤 高志様

TEL03-5275-2101

## ㈱POPER

栗原 慎吾様

千代田区東神田2-1-8秋葉原クロスサイト TEL03-6265-0951

## ㈱塾と教育社

加藤麻由美様

東京都千代田区飯田橋4-4-8-310

TEL03-6265-6855

## 株式会社 ブックモールジャパン

撲上 聰様

埼玉県戸田市上戸田4-2-33

TEL048-447-7457

## 教育開発出版株式会社

糸井 幸男様

東京都杉並区下高井戸1-39-12

TEL03-3304-5321

## 株式会社ナイス

谷村 紀嗣様

横浜市都筑区中川1-20-1

TEL03-3304-5321

## (株)クロノクリエイト

添田 大亮様

渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル

TEL03-5468-6986

## (株)声の教育社

小泉 邦人様

新宿区新小川町8-15

TEL03-5261-5061

## エスディーエムコンサルティング(株)

坂尻 俊樹様

調布市入間町1-31-23

TEL03-3484-1212